

こ う じ ん こ う じ つ

# 好腎好日

～腎臓をいたわり、長生きする～

日時

平成22年10月12日(火)

午後1時15分～4時30分

会場

文京シビックホール 大ホール

東京都文京区春日1-16-21

講演内容と講演者(順番は未定)

①『多様な働きと構造』

丸山直記 東京都健康長寿医療センター研究所 副所長

②『腎臓は体内環境の調整役』

今澤俊之 千葉東病院内科医長

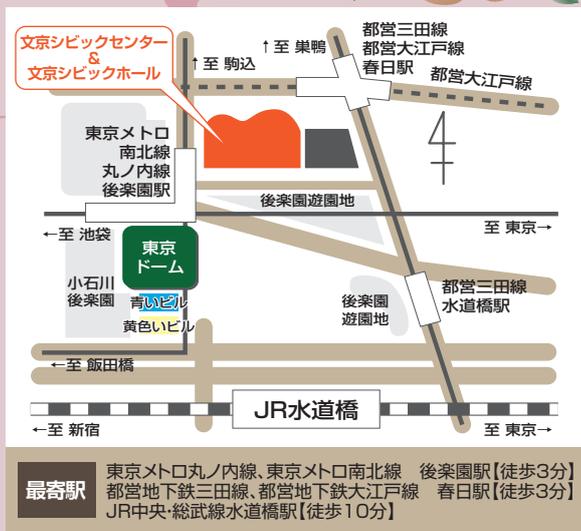
③『高齢者の腎臓病と治療』

湯村和子 自治医科大学地域医療センター  
腎臓内科担当教授

司会 丸山直記 東京都健康長寿医療センター研究所 副所長

質疑応答

主催：東京都健康長寿医療センター研究所  
共催：文京区(予定)



手話通訳あり

当日先着 **1800**人  
申込不要・入場無料

地方独立行政法人 東京都健康長寿医療センター  
東京都健康長寿医療センター 研究所  
(東京都老人総合研究所)

広報普及係

03-3964-3241 (内線3008)

ホームページ <http://www.tmig.or.jp/>

こ う

じ ん

こ う

じ つ

# 好腎好日

～腎臓をいたわり、長生きする～

本公開講座の題名は「好腎好日」は1961年公開の映画「好人好日」をもじったものです。名優・笠智衆さんや若き日の岩下志麻さんが出演していました。この「好」の意味は好きということではなく、「良い」という意味です。私たちの腎臓が持つ役目は、難しくいいますと、生体の「ホメオスタシス(恒常性)」を維持することです。つまり身体の成分構成があまり大きく変化しないようにするということです。映画「好人好日」の登場人物達が心を素直に保つことにより良い日々を過ごしているように、腎臓が私たちの日々を「好く」保ってくれていると言えるでしょう。

内分泌臓器であり、循環器でもありと、腎臓ほど多様な働きを持っている臓器はありません。皆さんはあまりそのことを意識されていないのでは？ また腎臓は肝臓と異なり再生することもありますから、治療が困難な臓器でもあります。そして特に高齢者では、症状が強いかどうかは別として、ほとんどの方に腎病変があるといっても過言ではありません。今回は、腎臓の多様な働きをどのように「好く」保ってゆくのかを専門医に解説していただきます。

地方独立行政法人 東京都健康長寿医療センター  
東京都健康長寿医療センター 研究所  
(東京都老人総合研究所)

広報普及係

**03-3964-3241** (内線 3008)ホームページ <http://www.tmig.or.jp/>